

## 幼児教育学科

科目名: 保育実践演習				担当教員 氏名: 藤井 徳子		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
2	2年次 前期	専門科目	演習	必修	保育士資格指定科目(必修)	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 森のようちえんや自然体験活動の現場で、実践を通して具体的に学び、自然保育技術を高める。						
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード		
自然保育をテーマとし、実践的活動を通して自然保育に関する知識や自然保育技術の向上を目指す。アクティブラーニングの一環として、森のようちえんや自然体験活動に参加、また企画・実践し、主体的に課題探求に取り組む。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の自然体験</li> <li>・幼児の発達理解</li> <li>・幼児の遊び</li> <li>・野外活動の危機管理</li> <li>・保育援助</li> </ul>		
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動 目標		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10		
A 知識・理解力	幼児の内面理解・発達理解を深める。					
B 専門的技術	幼児期の自然体験の意義を理解し、自然保育の在り方を学ぶ。					
C 論理的思考力	個々の演習テーマ・研究課題を設定し、現場での子どもとの関わりをもとに考察を深める。					
D 問題解決力	幼児の発達に必要な経験や援助のあり方を自分なりに構築する。					
H コミュニケーション力	保育現場の方々と、また学生同士で協力して自然保育の実践に取り組み、自身の気づきや学びを共有する。					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 100 %		
特記事項: 受講態度やグループ活動での貢献度等の総合評価とする。						
アクティブラーニング要素: (課題解決型学習) ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習 <u>フィールドワーク</u>						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容		学習に必要な時間(分)	
① オリエンテーション(演習内容、方法、スケジュール等)			【事後】①の復習		240	
② 日本と世界の自然保育事例に学ぶ			【事前】②の予習 【事後】②の復習		240	
③ 森のようちえん①(実習)			【事前】実習にむけた準備 【事後】③～⑤の復習 レポート作成		240	
④ 森のようちえん②(実習)						
⑤ 森のようちえん③(実習)						
⑥ 森のようちえん実習振り返り、有峰親子キャンプ計画			【事後】⑥の復習		240	
⑦ 有峰親子キャンプ①			【事前】キャンプ準備 【事後】⑦～⑭の復習 レポート作成		240	
⑧ 有峰親子キャンプ②						
⑨ 有峰親子キャンプ③						
⑩ 有峰親子キャンプ④						
⑪ 有峰親子キャンプ⑤						
⑫ 有峰親子キャンプ⑥						
⑬ 有峰親子キャンプ⑦						
⑭ 有峰親子キャンプ⑧						
⑮ 全体振り返り			【事前】①～⑭復習		120	
使用テキスト: 特に使用しない。				その他参考文献など: 授業の中で適宜紹介する。 プリントなどの資料を適宜配布する。		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 野外での実習実践がメインとなります。自然保育の楽しさを体感してほしいと願っています。						